

未来へ！

高知市立十津小学校
2021. 9. 27
第 20 号

今週で9月が終わります。令和3年度も折り返しとなりました。新型コロナウイルス感染症拡大もやっと落ち着きを見せはじめ、県のレベルも警戒に下がり、学校では感染症対策を取りながら子どもたちは様々な秋を楽しんでいます。延期になっていた社会見学や遠足、修学旅行や宿泊学習などの再計画も進めています。

保護者・地域の皆さんのお力をお借りしながら、色々な活動を進めていきますので引き続きのご支援・ご協力をお願いします。

2年生の鬼遊びから4年生のフラッグフットボールへ(戦術学習の連続展開)

先週水曜日に、介良小学校の戸田教頭先生を助言者に迎え、2年生が鬼遊びの授業を公開しました。この学習はフットボール系のゲームで、ライスボール（楕円形のボール）を持って、相手チームの陣地に走りこんで得点するゲームです。1年生の時から積み上げてきた俊敏な動きで、次々と相手の鬼（ディフェンス）をすり抜けて、ゲーム終了時には全員が得点を取っていました。助言の先生や校外から参加した先生からは、すごくレベルが高い動きで、元気ハツラツで素晴らしいと評価いただきました。

また、金曜日には4年生が2年生の学習の発展型として、フラッグフットボールの授業を公開しました。持って走ることが中心の2年生の学習から、4年生ではパスとランの作戦を組み合わせたり選択したりして、相手陣地に深く攻め込む授業を展開しました。大粒の汗を流しながら、チームごとにミッションクリアをねらって頑張りました。



タブレット学習推進

コロナ禍の学習やこれからのICT機器を活用した学習を推進するために、高知市教育研究所の瀬尾先生を講師に、6年生の算数科の師範授業を行っていただきました。

今の6年生は、3年生の時に講師の瀬尾先生に担当してもらった子供たちです。全員に配付されているタブレットのアプリケーションソフトを活用し、円の面積を求める学習を進めました。タブレットはみんなの考えを共有するときに活用したり、一人一人が説明する時に自分の解を電子黒板に投影したりして使います。

この他にも、5年生では教室外にタブレットを持ち出し、教室にいる担任と遠隔で会話をし、リモート学習の習熟を図り始めています。低学年でもタブレットドリルを活用したりお絵かきをしたりして、機器操作に慣れるよう取り組んでいます。

21世紀に欠くことができない学習の推進にご理解・ご協力をお願いします。



校内ぶんりり



返信欄